

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 石垣 沙耶
所属 (School) 現代システム科学域
マネジメント学類
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)
Concord International School
留学期間 (study abroad period)
2020年2月15日
~2020年3月9日

留学レポート Study Abroad Report

私が今回の語学研修に参加して一番印象に残ったことは日本とイギリスの文化や生活の違いです。文化や生活の違いの中でも特に違いがあると感じたのは歴史や自然に対する姿勢です。イギリスの首都であるロンドンの中心街には多くの歴史的建造物があり、また大英博物館などの多くの博物館や美術館の入場料が無料であることにとっても驚きました。日本の首都である東京には近代的な高層ビルが多く、歴史的建造物があるとしても周りの近代的な建物に埋もれてしまっているように思います。ロンドンには近代的な建物があるにも関わらず、世界遺産に登録されているような歴史的建造物が周りの建物に埋もれておらずむしろ近代的な建物に負けないほどの存在感がありました。私が見た歴史的建造物の中で一番存在感があったのはウェストミンスター寺院です。昔に建てられた建物が今なおイギリス王室の行事やミサなどのお祈りで使用されているのでよりイギリスの歴史を直接学ぶことができるのだと思いました。そしてイギリスの歴史的建造物のほとんどはキリスト教に関する建物であり、どの建物も日本では見たことがないくらい大きさだったのでキリスト教の信仰心の強さをとても感じました。ウェスト



ミンスター寺院にはアイザック・ニュートンなどの偉人のお墓もたくさんあり、キリスト教だけでなく昔活躍した偉人も大切にしているのだとも感じました。ウェストミンスター寺院だけでなく他の歴史的建造物もどれも威厳があり、イギリスの歴史の長さを物語っていました。

次に、イギリス人の自然に対する姿勢について、ホストマザーが昔からある地形をそのままにしているのよと説明してくれました。イギリスでは河川の護岸工事をあまり行っていないが、それも昔からある自然をそのままにしておくためだとも教えてくれました。イギリスに着いた日はちょうど台風のような雨と風で次の日のニュースで洪水が起きたと報道されたいたが、ニュースに出てきていた河川はどれも小さい河川ばかりでしかもどの河川にも護岸工事が行われていないように見えました。台風のような雨と風ですぐに小さい河川が氾濫し洪水によって人々は大変な思いをするけれど、自分たち的大変さよりもそのままの自然を残していこうという姿勢がとても素晴らしいなと思いました。日本は災害大国と言われて

いるほど洪水や地震が頻繁に起こっており、近年さらに河川の護岸工事が行われているように思えるので、日本とは正反対のイギリス人の自然に対する姿勢がとても新鮮でした。日本は災害が多いため自然本来の姿のままにしておいたまま災害と向き合うことは困難でほとんど不可能だとは思いますが、日本ならではの地形が全国各地にあると思うので、イギリス人を見習って日本ならではの地形を残したまま護岸工事などを行うことが大切だと思いました。イギリス人は自分たちの文化や自然に対する姿勢にとっても誇りを持っており、昔のイギリスを大切にしているので、その姿勢は日本も取り入れるべきだと思

いました。日本でいう京都のような日本の文化が今も残っている町が、イギリスでは大都市に存在しているのにより人々が歴史に触れやすいのだとも思いました。

Concord International School に3週間通ったことで私が一番感じたのは英語の大切さです。Concord では国籍も年齢もバラバラの人たちの同じ教室で一緒に英語を勉強したけれど、国籍が異なる話す言語も異なっているので他国の人と話すには英語を使うしかないという状況だったのでよりたくさん英語を使って会話することができたと思います。また全員が英語を習いに来ているため、先生以外はみんな英語を完璧に話すことができない中で自分で頑張っけて考えて会話することで英語でうまく言えないもどかしさや自分の語彙力の無さを実際に感じることもできました。また、英語を使って他国の文化や生活についても知ることができたので英語は会話の媒体であり、この3週間は英語が自分の中心となっていました。一緒にこの語学研修に参加した府大生のメンバーからもたくさんの様々な話を聞くことができ、学校外でも良い刺激をたくさん受けることができました。この語学研修に参加していなかったら出会い関わることのなかった人たちばかりなのでこの語学研修に参加したことでたくさんの人からたくさんの刺激をもらうことができとても良い経験になりました。この3週間、学校でも家でもほぼ24時間ずっと英語に触れていたの自分の英語力の無さを感じることも多かったけれど、それ以上に英語で話すことの楽しさもより感じることもできました。

イギリスの食文化について私が一番印象に残ったことは紅茶の文化です。私のホームステイ先では毎朝、朝ごはんを食べるときに必ず紅茶が出てきました。日本ではカフェに行ったときに紅茶よりもコーヒーの方が種類が多いように思ったけれど、イギリスでは紅茶の種類がとても多かったです。また紅茶の種類が多いため自分の好きな紅茶のフレーバーを見つけることができ、紅茶の飲み比べなどもできたのでとても面白かったです。またロンドンに行ったときにイギリスの本場のアフタヌーンティーを食べました。その時に出てくる紅茶の種類を自分で選ぶことができたのですが、その種類の多さにとても驚きました。またアフタヌーンティーは食べる順番やスコーンなどの伝統的な食べ方があり、アフタヌーンティーは少し厳格な食べ物なの



だと思いました。私のホストマザーが紅茶を飲むときに紅茶にはたくさん種類があるけれど、その時の気分や体調、紅茶を飲む時間帯などに合わせて紅茶の種類を変えて紅茶を飲むのだと教えてくれました。私のホームステイ先では毎朝飲む紅茶と夜にたまに飲む紅茶の種類が異なっていました。寒い日や体調が優れないときにはホストマザーがカモミールティーを出してくれました。紅茶を飲むことは毎日の習慣となっているように感じました。日本には緑茶があるが、毎日飲むという習慣はないように思えるので、毎日同じ飲み物を飲むということがとても新鮮でした。

最後に、英語の大切さのところでも述べたが、私はこの語学研修に参加したことで多くの刺激を受けることができました。

3週間という長い期間、外国で生活をするということが今回が初めてだったので、初めてのことが多く日本とは違う文化に触れて生活したことで日本で生活していたら気づかようなことにたくさん気づくことができました。またホームステイをしたことでイギリスの生活をよりリアルに体感することができたのだと思います。イギリスで過ごした3週間は本当に一瞬で毎日が刺激であふれていました。そして何よりさらに英語を学びたいと思わせてくれたすばらしい3週間でもありました。次は長期の留学に行きたいと考えているのでその時までさらに英語力をつけて自分の考えを英語でしっかりとと言えるようになります。

